

洛水中学校区小中一貫教育校施設整備工事設計業務委託に係る公募型プロポーザル 評価要領

本評価要領は、洛水中学校区小中一貫教育施設整備工事設計業務委託の実施にあたり、最適な実施体制の確保及び課題に対する技術提案が可能な企業等を選定するため、その評価の基準を定める。

1 評価基準

評価の項目、配点及び基準は、別表による。なお、提出書類において事実確認ができない場合は配点を行わないことがある。提出書類については、本公募における「募集要領」及び「技術提案書等の作成に関する説明書」を参照すること。

2 用語の定義

- (1) 本評価要領（別表）「評価基準」1(2)①及び(3)①における「同種業務」とは、延べ面積（※1～※2）3,500㎡以上の学校（学校教育法第1条に規定する学校に限る。）の新築、増築又は改築に係る基本設計及び実施設計業務、若しくはそのどちらかの業務とする。
 - ※1 増築及び改築にあつては、増築及び改築部分の床面積の合計を延べ面積とする。
 - ※2 敷地内に複数の建築物がある場合、又は用途が複合する建築物の場合は、学校教育法第1条に規定する学校に該当する部分の床面積の合計を延べ面積とする。
- (2) 本評価要領（別表）「評価基準」1(2)①②及び(3)①②における「実績」は、次に掲げる条件を満たすものとする。
 - ア 設計・施工一括発注方式又はPFIにおける実績については、代表となる設計者として建築基準法第6条第1項又は第18条第3項に掲げる確認済証を取得した実績が確認できるものに限る。
 - イ 共同企業体における実績については、代表者として受注した実績とする。
 - ウ 受注した実績は、契約年月日が平成28年4月1日以降のものとする。
 - エ 受注した実績は、令和8年3月3日（公募開始日の前日）までに業務を完了しているものに限る。
 - オ 受注した実績は再委託を除く。

評価基準

1 第一次審査（書面審査）

【100点】

(1) 設計事務所の評価※1

【10点】

評価項目	評価事項	評価	配点	満点
①所在地	本店の所在地	A 本店所在地が京都市内	2	2
		B 本店所在地が京都市外	0	
②瑕疵担保力	損害賠償保険の加入状況	A 1事故あたりの保険金額が5千万円以上の保険加入	4	4
		B A又はC以外	2	
		C 保険未加入	0	
③業務成績	過去5年間の成績評定平均値※2	A 70点以上	4	4
		B 65点以上70点未満	2	
		C 60点以上65点未満	0	
		D 60点未満	-1	

※1 共同企業体の場合は、代表者におけるそれぞれの項目において評価を行う。

※2 本評価項目については、令和3年4月1日以降に本市と直接契約（設計変更契約を含まない。）し、令和8年3月3日（公募開始日の前日）までに完了した設計業務委託のうち、都市計画局公共建築部が完了検査を実施したものに關する成績評定の平均値について、小数点以下第一位を切り捨て、整数で評価する。ただし、対象となる受注実績がない場合は、C評価相当として取り扱う。

(2) 管理技術者の実績等

【16点】

評価項目	評価事項	評価	配点	満点
① 業務実績の参考度	本業務の実施にあたり有益な実績、本業務への参考度 ・ 同種業務の実績（延べ面積）	A 延べ面積 5,000 m ² 以上の同種業務	6	6
		B 上記以外の同種業務	3	
		C 実績なし	0	
② 業務実績の参考度	本業務の実施にあたり有益な実績、本業務への参考度 ・ 建築基準法に基づく建築物に係る仮使用認定を含む設計実績 ^{※1} 又は仮使用認定を受けた実績（建築設備又は工作物のみを対象とした場合は除く）	A 学校（学校教育法第1条に規定する学校に限る。）用途における仮使用の業務実績	6	6
		B 上記以外の用途における仮使用の業務実績	3	
		C 参考にならない又は実績なし	0	
③ CPDの取得状況	指定期間内における単位取得数	A 12単位以上	2	2
		B 6単位以上12単位未満	1	
		C 6単位未満	0	
④ 業務繁忙度	契約時点 ^{※2} に従事する他業務の件数	A 1件以下	2	2
		B 2件	1	
		C 3件以上	0	

※1 基本設計及び実施設計業務又はそのどちらかの業務とする。

※2 令和8年6月1日時点とする。

(3) 設計担当主任技術者の実績等

【16点】

評価項目	評価事項	評価	配点	満点
① 業務実績の参考度	本業務の実施にあたり有益な実績、本業務への参考度 ・ 同種業務の実績（延べ面積）	A 延べ面積 5,000 m ² 以上の同種業務	6	6
		B 上記以外の同種業務	3	
		C 実績なし	0	
② 業務実績の参考度	本業務の実施にあたり有益な実績、本業務への参考度 ・ 建築基準法に基づく建築物に係る仮使用認定を含む設計実績 ^{※1} 又は仮使用認定を受けた実績（建築設備又は工作物のみを対象とした場合は除く）	A 学校（学校教育法第1条に規定する学校に限る。）用途における仮使用の業務実績	6	6
		B 上記以外の用途における仮使用の業務実績	3	
		C 参考にならない又は実績なし	0	
③ CPDの取得状況	指定期間内における単位取得数	A 12単位以上	2	2
		B 6単位以上12単位未満	1	
		C 6単位未満	0	
④ 業務繁忙度	契約時点 ^{※2} に従事する他業務の件数	A 1件以下	2	2
		B 2件	1	
		C 3件以上	0	

※1 基本設計及び実施設計業務又はそのどちらかの業務とする。

※2 令和8年6月1日時点とする。

(4) 業務の体制、実施方針等

【48点】

評価項目	評価事項	評価	配点	満点
①業務の 進め方、 体制、実 施方針	業務の進め方、体制、実施方針 ・業務の目的、本業務の諸条件、業務内容（業務上重要な部分）の理解度 ・業務実施の手順、工程、フロー等の妥当性 ・体制の妥当性（チームの特徴、担当者数、責任の所在等） ・業務の実施方針 ※ 工事費等のコスト縮減及び合理的な事業スケジュール管理の構築の観点も踏まえた実施方針等の提案を求める。	A 極めて評価できる	24	24
		B 評価できる	16	
		C やや評価できない	8	
		D 評価できない	0	
②工事計 画におけ る実施方 針	居ながら施工における実施方針、検討方針 ・学校の機能を維持しながら、工事段階に応じて仮設計画を変更する必要がある工事における、生徒や職員の安全性や教育環境の確保と、効率的な工事計画の両立	A 極めて評価できる	24	24
		B 評価できる	16	
		C やや評価できない	8	
		D 評価できない	0	

(5) 見積金額

【10点】

評価項目	評価基準	配点	満点
見積金額	A= 最低金額以上、 (最低金額 + (概算予定価格 - 最低金額) × 1/5) 未満	10	10
	B= 最低金額 + ((概算予定価格 - 最低金額) × 1/5) 以上、 最低金額 + ((概算予定価格 - 最低金額) × 2/5) 未満	8	
	C= 最低金額 + ((概算予定価格 - 最低金額) × 2/5) 以上、 最低金額 + ((概算予定価格 - 最低金額) × 3/5) 未満	6	
	D= 最低金額 + ((概算予定価格 - 最低金額) × 3/5) 以上、 最低金額 + ((概算予定価格 - 最低金額) × 4/5) 未満	4	
	E= 最低金額 + ((概算予定価格 - 最低金額) × 4/5) 以上、 概算予定価格以下	2	

※ 表中の「最低金額」は、本件プロポーザル参加者から提案があった見積金額のうち一番低い金額とする。ただし、参加者の提案した見積金額が、概算予定価格から以下に掲げる算出方法により算出した金額を下回るときは、当該最低価格を採用する。その場合、当該最低価格を当該参加者の見積金額とみなす。

最低価格：直接人件費 + 特別経費 + 技術料等経費 × 60% + 諸経費 × 60% (端数処理は行わない)

2 第二次審査（ヒアリング審査）

【100点】

(1) 課題に対する技術提案

【80点】

評価項目	評価事項	評価	配点	満点
① 技術提案ア	<p>地域に愛される小中一貫教育校の提案</p> <ul style="list-style-type: none"> 本施設は、道路、河川の結節点であり、本市の南の玄関口である洛水地域における小中一貫教育校である。異学年交流など、9学年が共に学ぶ多様な教育環境の確保や、増築棟と既存校舎棟の調和（両者の格差解消への配慮）を図りつつ、将来の学校の在り方を見据えた「地域に愛される新たな顔となる小中一貫教育校」とすることは重要である。 このため、多様な教育環境を確保しつつ、地域の新たな価値を創造する設計上の考え方及びそれを実現する工夫等について、コストや工期等のスケジュールを踏まえた提案を求める。（※） 	A 極めて評価できる提案	40	40
		B 評価できる提案	30	
		C 標準的な提案	20	
		D やや評価できない提案	10	
		E 評価できない提案	0	
② 技術提案イ	<p>環境に配慮した施設の提案</p> <ul style="list-style-type: none"> 脱炭素社会の実現に向け、本施設では増築棟単体に留まらず、既存校舎棟を含めた施設全体での「ZEB水準達成」という目標を掲げている。あわせて、温かみのある教育環境を創出するため、市内産木材の積極的な活用も不可欠な要素である。 このため、火災・水害・地震に対する安全性の確保を大前提とした上で、環境性能の確保、市内産木材の積極利用に加え、増築棟と既存校舎棟の環境性能を高いレベルで調和させるための設計上の考え方及びそれを実現する工夫等について、コストや工期等のスケジュールを踏まえた提案を求める。（※） 	A 極めて評価できる提案	40	40
		B 評価できる提案	30	
		C 標準的な提案	20	
		D やや評価できない提案	10	
		E 評価できない提案	0	

※ 技術提案ア及びイについて、以下の視点で評価を行う。

- ・ 業務内容や課題の理解度
- ・ 提案の的確性（必要なキーワード、着眼点、問題点、解決方法等が網羅されているか）
- ・ 提案の実現可能性（技術面、コスト面、他の提案内容との整合性など）

- ・提案の説得力（経験や実績等の反映度、工学的知見による裏付けなど）
- ・その他評価に値すべき事項（提案に独創性や芸術性等の付加価値がある、有益な代替案の提案や重要な指摘等がある、コスト削減案に配慮しているなど）

(2) プレゼンテーション能力

【20点】

評価項目	評価事項	評価	配点	満点
プレゼンテーション能力	<ul style="list-style-type: none"> ・説明が明快 ・質疑の受け答えが明快 ・その他評価に値すべき事項 	A 極めて評価できる	20	20
		B 評価できる	15	
		C 普通	10	
		D やや評価できない	5	
		E 評価できない	0	